

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月22日
【計算期間】	第7期（自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）
【ファンド名】	ロボット戦略 世界分散ファンド
【発行者名】	T & D アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坪 井 親 弘
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目36番7号
【事務連絡者氏名】	富岡 秀夫
【連絡場所】	東京都港区芝五丁目36番7号
【電話番号】	03-6722-4813
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

この投資信託は、値上がり益の獲得を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの基本的性格

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類および属性区分は以下の通りです。ファンドが該当する商品分類および属性区分を網掛け表示しています。

< 商品分類表 >

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類
単位型投信	国内	株式	インデックス型
	海外	債券	
追加型投信	内外	不動産投信 その他資産 資産複合	特殊型 (絶対収益追求型)

< 属性区分表 >

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	特殊型
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 その他資産(投資信 託証券(資産複合 (株価指数先物取引、 債券先物取引、 金利先物取引、為替 先物取引)資産配分 変更型)) 資産複合	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア アセアニア 中南米 アフリカ 中近東(中東) エマージング	ファミリー ファンド ファンド・ オブ・ ファンズ	あり (部分ヘッジ) なし	ブルベア型 条件付運用型 ロング・ ショート型/ 絶対収益 追求型 その他

< 商品分類の定義 >

追加型投信

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

内外

目論見書または信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

資産複合

目論見書または信託約款において、株式・債券・不動産投信（リート）・その他資産のうち、複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

特殊型（絶対収益追求型）

目論見書または信託約款において、投資家に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があり、属性区分の特殊型において、絶対収益追求型に分類されるものをいいます。

< 属性区分の定義 >

その他資産（投資信託証券（資産複合（株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引）資産配分変更型））

目論見書または信託約款において、投資信託証券を通じて実質的にその他資産（投資信託証券（資産複合（株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引）資産配分変更型））に投資を行うものをいいます。

年2回

目論見書または信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。

グローバル（日本を含む）

目論見書または信託約款において、組入資産による投資収益が世界（日本を含む）の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファンド・オブ・ファンズ

「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。

為替ヘッジあり

目論見書または信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。

特殊型（絶対収益追求型）

目論見書または信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。

属性区分における「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照ください。

ファンドの特色

1

主として円建の外国投資信託証券であるマン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス(ヘッジ付)(以下「外国投資信託」ということがあります。)への投資を通じて、先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を活用し、幅広い資産に投資を行います。

2

外国投資信託の運用は、1987年の創業以来、一貫したコンピューター運用の実績を持つ英国のAHL パートナーズLLP(以下「AHL」ということがあります)が行います。AHLが世界最先端の金融技術の研究・開発により生み出した独自の定量モデルが、投資判断を行います。

- 主として市場動向の方向性にそって多数の先物等について「買い建て(ロング)ポジション」または「売り建て(ショート)ポジション」を構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
- 先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面において収益を追求します。特定の市場の動向に左右されにくい収益の追求を目指すことを絶対収益追求といいますが、必ず収益を得られることを意味するものではありません。
- 原則として、コモディティ市場への投資は行いません。

3

外国投資信託においては、原則として当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減を図ります。

- 外国投資信託の実質的な通貨配分における各通貨と米ドルの間に発生する為替変動の影響を受けることがあります。

投資対象市場について

ファンドは世界中の株価指数、債券・金利、通貨を投資対象とし、100以上の市場に幅広く分散して投資します。



資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

ファンドの仕組み

ファンドは、以下の投資信託に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。

主として円建の外国投資信託証券であるマン・アHL・ダイバーシティ・オルタナティブ・日本円クラス(ヘッジ付)への投資を通じて、先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を活用し、幅広い資産に投資を行います。

また、国内の証券投資信託であるT&Dマネーアカウントマザーファンド受益証券への投資も行います。



1 コンピュータープログラムによる投資判断を行います

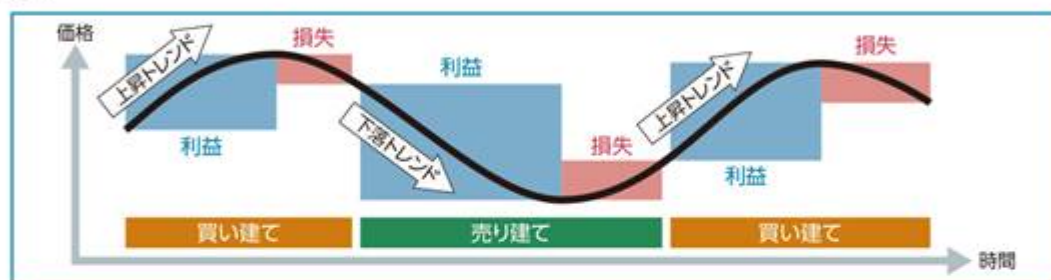
◆投資判断はコンピューターが行います。コンピュータープログラム(ロボット戦略)がすべての投資対象市場の「上昇トレンド」※や「下落トレンド」を判断し、原則としてそれに追従する取引を執行します。

※トレンドとは市場の方向性のことです。

◆価格の上昇局面だけでなく、下落局面についても収益機会の獲得を目指します。

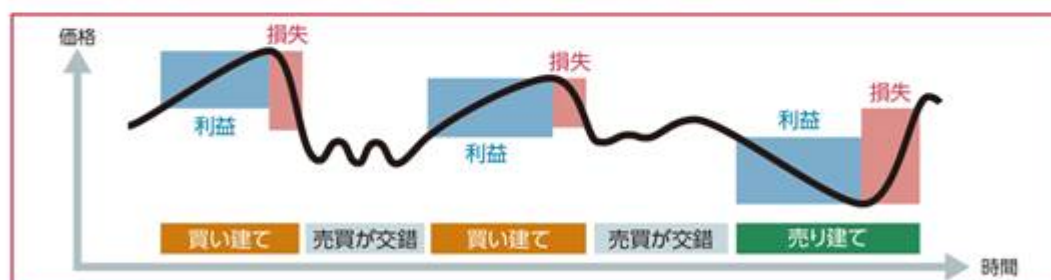
取引のイメージ

「上昇トレンド」と判断した場合は「買い建て(ロング)ポジション」、「下落トレンド」と判断した場合は「売り建て(ショート)ポジション」を構築し、トレンドが反転した場合は速やかにポジションを解消します。ファンドは原則として先物取引での買い建て、売り建てによる利益の獲得を目指します。



強み

●トレンドが明確で急な反転がない局面において、上昇と下落の両局面から利益を獲得することを目指します。



弱み

●相場の変転時には損失が発生する可能性があります。

●相場のトレンドが明確とならずもみ合って方向性に欠ける展開においては、売買が交錯し、損失が発生する可能性があります。

上図は利益、損失のイメージ図です。必ずしもその通りになるとは限りません。

トレンドが見られない場合は損失が発生する場合があります。またトレンドが見られる場合でも取引がうまくいかず損失となるケースもあります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

2 先物取引等を活用し、プラスの投資成果の獲得を目指します

- ◆ファンドは、投資対象市場の先物取引(あるいは先渡取引)を活用することで、コンピュータープログラムが「上昇トレンド」と判断した場合に「買い建て」、逆に「下落トレンド」と判断した場合に「売り建て」を行います。
- ◆投資対象市場が方向感のない相場展開(コンピュータープログラムが「上昇トレンド」でも「下落トレンド」でもない)と判断する局面)となる場合は、収益機会を得られないことがあります。

3 コンピューター運用の魅力「フィンテック」を用いた「次世代型超分散ポートフォリオ」を構築します

- ◆高度なテクノロジーに裏付けされた戦略に基づき、世界中の市場を対象として次世代型超分散ポートフォリオを構築します。

AHLの “次世代型超分散ポートフォリオ”

- ① 世界中の市場に分散投資
- ② 100以上の投資対象市場
(株価指数、債券・金利、通貨に分散)
- ③ 流動性の高い市場に限定
(先物市場および先渡市場のみに投資)
- ④ 売り建てを行うことが可能
(市場の下落局面も収益機会として捉えることが可能)
- ⑤ 市場環境に応じ自動的にリバランス
(コンピュータープログラムが利益確定や損切りを実施)

“フィンテック” (Financial Technology) 高度なコンピュータープログラムによる運用

- ① 投資判断
(膨大なデータを処理し、ルールに基づきシステムチックに判断)
- ② 執行
(電子トレード・人工知能を搭載)
- ③ リスク管理

マン・グループ(本社:英国 ロンドン)は、5つの運用会社を傘下にもつ、世界最大級のオルタナティブ投資を中心とする先進的資産運用会社です。

AHLはクオンツ・マルチアセット運用を提供する運用会社です。

*オルタナティブとは株式や債券等の伝統的な資産とは異なる資産のこと

*クオンツとは金融工学等の知識を駆使し数学的手法を用いて分析を行うこと



資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

ファンドの運用会社 コンピューター運用の開拓者 AHL

AHLは、1987年の創業以来、30年以上一貫してコンピューター運用の最先端を走っています。

◆AHL パートナース LLP(AHL)について



- ・コンピューター運用の開拓者として30年以上の運用実績を有する
- ・世界の大手年金基金やソブリンウェルスファンド(政府系ファンド)を顧客に持ち、運用資産残高316億米ドル(約3.4兆円)を誇る世界有数のクオンツ運用マネジャー
- ・堅固なリサーチ体制と最先端のトレーディング・テクノロジーを有する(125名を超える研究者集団(数学博士、物理学博士なども含む))
- ・複数のバックアップ・サイトを保持し、頑健なシステムを構築
- ・英国・オックスフォード大学と提携し、共同で研究所を設立

(2019年9月末現在)

AHLにおける研究・開発の方向性

最近のモデル開発事例 機械学習(マシーン・ラーニング)

- ◆コンピューターが機械学習により過去の膨大な価格変動パターンを基に、将来の姿を予測します。

投資対象市場の拡大 幅広い市場に分散投資

- ◆AHLでは、600を超える幅広い市場の分析を行っています。

- ◆オックスフォード・マン定量ファイナンス研究所(OMI)について
2007年に英国・オックスフォード大学と提携し、共同で研究所を設立。
世界最先端の金融技術の研究・開発を行っています。



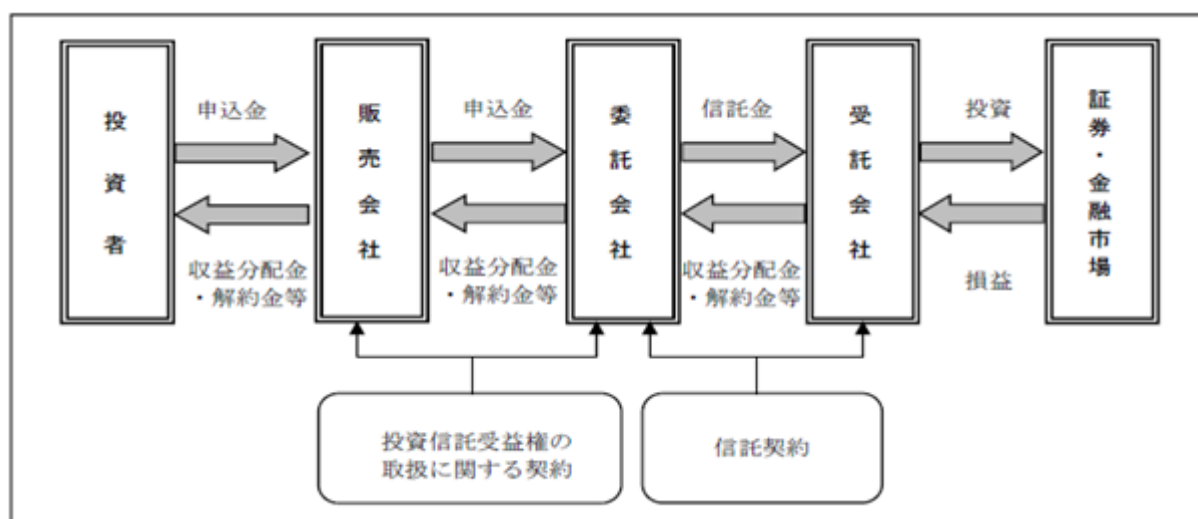
信託金の限度額は2,000億円です。ただし、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

(2) 【ファンドの沿革】

2016年9月30日 信託契約締結、ファンドの設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

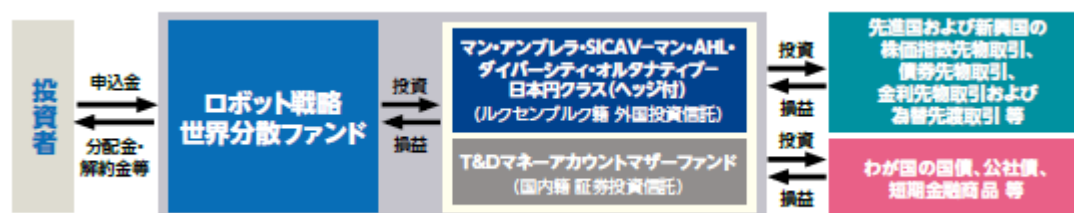
ファンドの仕組み図



ファンド・オブ・ファンズについて

ファンドは、以下の投資信託に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。

- ・円建の外国投資信託である「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ - 日本円クラス（ヘッジ付）」
- ・親投資信託「T & D マネーアカウントマザーファンド」



委託会社およびファンドの関係法人の名称およびファンドの運営上の役割

（委託会社が関係法人と締結している契約等の概要を含みます。）

a. 委託会社

T & D アセットマネジメント株式会社

委託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。

- （１）信託約款の届出
- （２）信託財産の運用指図
- （３）信託財産の計算（毎日の基準価額の計算）
- （４）目論見書および運用報告書の作成等

b. 受託会社

野村信託銀行株式会社

受託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。

- （１）信託財産の保管・管理・計算
- （２）委託会社の指図に基づく信託財産の処分等

c. 販売会社

販売会社は、委託会社との間に締結した「投資信託受益権の取扱いに関する契約書」（別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。）等に基づき、主に次の業務を行います。

- （１）受益権の募集・販売の取扱い
- （２）受益権の換金（解約）申込の取扱い
- （３）換金代金、収益分配金および償還金の支払の取扱い
- （４）目論見書、運用報告書の交付等

委託会社の概況

a. 資本金

2020年3月末日現在 11億円

b. 会社の沿革

1980年12月19日	第一投信株式会社設立 同年12月26日「証券投資信託法」（当時）に基づく免許取得
1997年12月 1日	社名を長期信用投信株式会社に変更
1999年 2月25日	大同生命保険相互会社（現：大同生命保険株式会社）の傘下に入る
1999年 4月 1日	社名を大同ライフ投信株式会社に変更
2002年 1月24日	投資顧問業者の登録
2002年 6月11日	投資一任契約に係る業務の認可
2002年 7月 1日	ティ・アンド・ディ太陽大同投資顧問株式会社と合併、 ティ・アンド・ディ・アセットマネジメント株式会社に社名を変更
2006年 8月28日	社名をT & D アセットマネジメント株式会社に変更
2007年 3月30日	株式会社T & D ホールディングスの直接子会社となる
2007年 9月30日	金融商品取引法の施行に伴い、第二種金融商品取引業、

投資助言・代理業、投資運用業の登録

c. 大株主の状況

2020年3月末日現在

株主名	住所	所有株数	所有比率
株式会社T & Dホールディングス	東京都中央区日本橋二丁目7番1号	1,082,500株	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

外国投資信託証券への投資を通じて、先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を活用し、幅広い資産に投資を行います。なお、マザーファンド受益証券への投資も行います。

外国投資信託およびマザーファンド受益証券への投資割合は、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、外国投資信託の組入比率は原則として高位とすることを基本とします。

ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」（基軸通貨：米ドル）において、ヘッジ目的以外の為替取引を行うことがあります。

外国投資信託においては、原則として当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減をはかります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2)【投資対象】

主として外国投資信託およびマザーファンド受益証券に投資を行います。

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

a. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。）

- (1) 有価証券
- (2) 金銭債権
- (3) 約束手形

b. 次に掲げる特定資産以外の資産

- (1) 為替手形

委託会社は、信託金を、外国投資信託およびマザーファンドならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

(1) 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）

(2) コマーシャル・ペーパー

(3) 外国法人が発行する譲渡性預金証書

(4) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、(1)から(3)の証券または証書の性質を有するもの

なお、(1)の証券を以下「公社債」といい、公社債に係る運用の指図は、短期社債等への投資ならびに現先取引および債券貸借取引に限り行うことができます。

委託会社は、信託金を に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- (1) 預金

（２）指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

（３）コール・ローン

（４）手形割引市場において売買される手形

(参考)

投資する投資信託証券の概要

ファンド名	マン・アンブレラ・SICAV-マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ-日本円クラス(ヘッジ付) 英名: Man Umbrella SICAV - Man AHL Diversity Alternative - IN H JPY Acc
分類	ルクセンブルク籍/外国投資信託/円建
設定日	2015年7月17日 ※「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」は2009年11月3日に設定済み。
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を主要投資対象とします。
投資態度	①先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロングポジションまたはショートポジションを構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面においても収益を追求します。 ③原則として、コモディティ市場への投資は行いません。 ④投資運用会社の判断によりレバレッジを活用します。 ⑤資金動向や市場動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
ベンチマーク	なし
参考指数	なし
主な投資制限	①有価証券(先物等のデリバティブ取引は含みません。)の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ③一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ④流動性にかかる資産の組入れは10%以下とします。
決算日	毎年12月31日
分配方針	原則として分配は行いません。
運用報酬	運用報酬:「日本円クラス(ヘッジ付)」の純資産総額に対して年1.0% 成功報酬:「日本円クラス(ヘッジ付)」の成功報酬計上前の純資産総額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、その超過部分に対して15%
管理報酬	「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」の純資産総額に対して上限年0.2% 当該報酬には、管理事務代行報酬、保管報酬、登録および名義書換事務代行報酬等が含まれます。その他、管理会社報酬、監査費用、取引費用、弁護士費用等がかかります。
換金時手数料	なし
購入・換金申込不可日	・ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの銀行または証券取引所の休業日 ・12月24日
管理会社	MDO マネジメントカンパニー S.A.
投資運用会社	AHL パートナース LLP
管理事務代行会社、保管会社、登録および名義書換事務代行会社	シティバンク ヨーロッパ plc (ルクセンブルク支店)
監査法人	アーンスト & ヤング

概要は、2019年9月末日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

ファンド名	T&Dマネーアカウントマザーファンド
分類	親投資信託
設定日	2012年9月5日
運用の基本方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主な投資対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
決算日	9月10日(休業日の場合は翌営業日)
分配方針	分配は行いません。
信託報酬	ありません。
監査報酬	ファンド監査は行いません。
委託会社	T&Dアセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社

株式への直接投資は行いません。

外貨建資産への直接投資は行いません。

有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。

組入投資信託証券が、一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、同一銘柄の投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金の手当て（換金に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金の借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b. 換金に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または換金代金の入金日までの間もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、換金代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- c. 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- d. 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

（参考）T & Dマネーアカウントマザーファンドの概要

（１）投資方針

わが国の国債、公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ります。

有価証券先物取引等は、信託約款の範囲内で行います。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

（２）投資対象

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

a. 次に掲げる特定資産

- （１）有価証券
- （２）デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限ります。）
- （３）金銭債権
- （４）約束手形

b. 次に掲げる特定資産以外の資産

- （１）為替手形

委託会社は、信託金を、主として次の有価証券（本邦通貨表示のものに限り、金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

- （１）国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
- （２）資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
- （３）投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
- （４）コマーシャル・ペーパー
- （５）外国または外国の者の発行する証券または証書で、（１）から（４）の証券または証書の性質を有するもの

（６）外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

（７）外国法人が発行する譲渡性預金証書

（８）貸付債権信託受益権であって、金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

なお、（１）から（３）までの証券および（５）の証券または証書のうち（１）から（３）までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といいます。

委託会社は、信託金を に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することの指図ができます。

（１）預金

（２）指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

（３）コール・ローン

（４）手形割引市場において売買される手形

（５）貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの

（６）外国の者に対する権利で（５）の権利の性質を有するもの

（３）投資制限

株式への投資は行いません。

外貨建資産への投資は行いません。

一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

a．委託会社は、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取り扱うものとします。

b．委託会社は、わが国の金融商品取引所等における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

a．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する公社債を貸付けることの指図をすることができます。公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

b．前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

c．委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

3【投資リスク】

（１）基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。

したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

価格変動リスク

株式、債券、通貨・為替等を原資産とする先物取引等の価格は、投資対象となる原資産の価格の動きや取引されている市場での需給等の影響を受けて変動します。なお、世界各国の先物取引等のロング・ポジション、ショート・ポジションを構築することにより、収益の獲得を目指すため、投資市場の上昇が必ずしも収益の要因とはなりません。先物取引等の価格が予想した方向と反対方向に動いたことによる損失の発生は、基準価額が値下がりする要因となります。

金利変動リスク

金利変動リスクとは、金利の変動により資産の価値が変動する可能性のことをいいます。特に債券は金利の変動に大きな影響を受けます。

一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

信用リスク

有価証券の発行者、または金融商品の運用先に債務不履行等が発生または懸念される場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産は通貨の価格変動によって評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。外貨建資産の評価額が下落した場合、基準価額が値下がりする要因となります。

流動性リスク

市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱、取引規制等のために、取引が行えない場合、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。また、ファンドに大量の資金変動が生じた場合等には機動的に有価証券を売買できない場合があります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制等が設けられた場合は、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

デリバティブのリスク

ファンドの投資対象である外国投資信託は、主として有価証券、金利関連のデリバティブに投資します。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、ファンドが損失を被るリスクを伴います。

レバレッジリスク

先物取引等によりレバレッジをかけた取引を行う場合には、先物取引等の価格が予想した方向と反対方向に動いた場合に、レバレッジがかかっていない場合に比べて損失が拡大し、基準価額が値下がりする要因となります。

システムリスク

コンピュータープログラムが機能しない等、システム運用に関して不慮の出来事が生じる可能性があり、基準価額が値下がりする要因となります。

基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

（２）その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

（３）リスクの管理体制

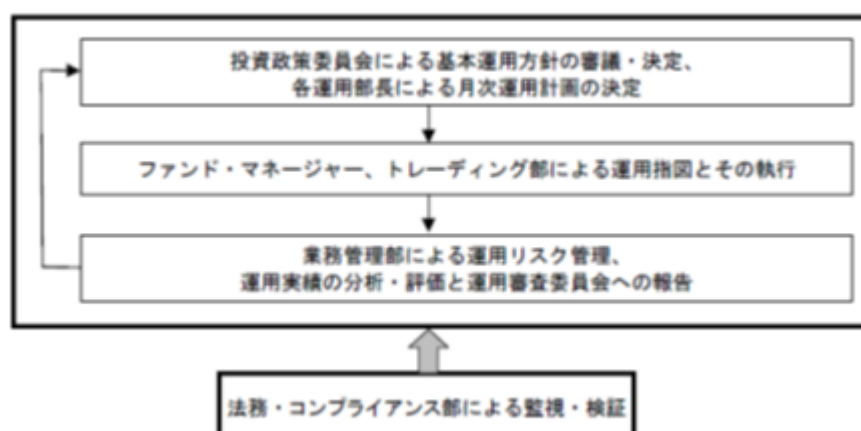
委託会社では、運用部門は定められた運用プロセスを通じて投資リスクを管理します。

また、運用部門から独立した部門がファンドのパフォーマンス分析・評価および法令・運用諸規則等に照らした適正性の審査等の結果について、各種委員会等に報告を行い、必要に応じて適切な措置を講じる体制となっております。

委託会社のリスクの管理体制は、以下の通りです。

委託会社は、社内規程において投資リスクに関する取扱い基準およびその管理体制についても定めており、下記の運用体制のサイクル自体が、投資リスクの管理体制を兼ねたものとなっています。

- ・ ファンド・マネージャーは定期的に、投資環境および市況見通し、ポートフォリオの状況および運用成果等をモニタリングして運用リスクの管理を行いつつ、原則として月次にて（投資環境および市況の著しい変化等に対応する場合には随時）運用計画の見直しを行い、各運用部長による承認を経て、実際の運用指図を行い、トレーディング部がその執行を行っています。
- ・ 業務管理部は、運用リスク管理を所管するとともに、ファンドのパフォーマンス分析・評価等を月次にて行い、運用審査委員会に報告を行うことにより、運用成績の改善のサポートを行っています。
- ・ 法務・コンプライアンス部は、法令、約款等、運用諸規則・運用制限に照らした適正性の監視・検証を行い、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

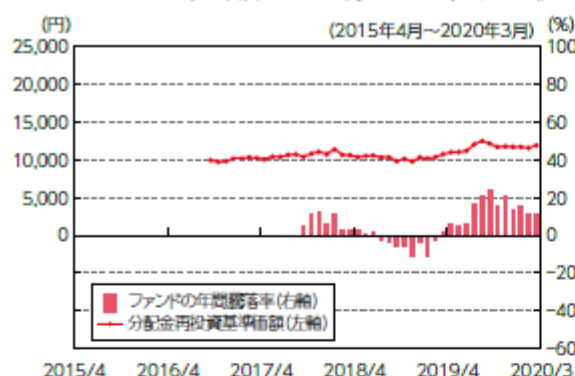


リスクの管理体制は2020年3月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

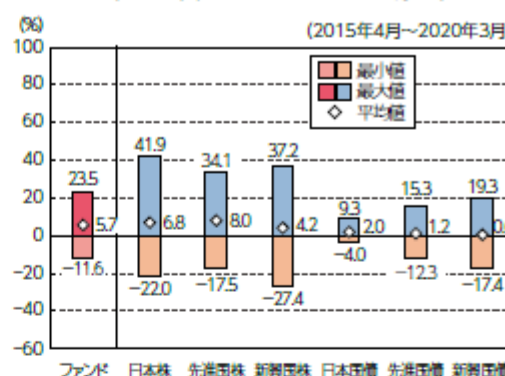
<参考情報>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移>



<ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較>



(注) ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されており、実際の基準価額及び実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*右のグラフは、2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*右のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

*上記の騰落率は2020年3月末から遡って算出した結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

*ファンドは2016年9月に設定されたため、ファンドの騰落率、分配金再投資基準価額は2016年9月末以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株 …… 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
 先進国株 …… MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
 新興国株 …… MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 日本国債 …… NOMURA-BPI国債
 先進国債 …… FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 新興国債 …… JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

*詳細は「指数に関して」をご参照ください。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、誤差または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド(円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

3.30%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が個別に定める率を、発行価格に乗じて得た額とします。

申込手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。なお、収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

（２）【換金（解約）手数料】

換金手数料はありません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.012%（税抜0.92%）を乗じて得た額とします。

信託報酬の配分については、以下の通りとします。

[信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率] (年率・税抜)

支払先	信託報酬率	対価の内容
委託会社	0.38%	委託した資金の運用等の対価
販売会社	0.51%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	0.03%	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

上記の信託報酬の総額は日々費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。

なお、毎計算期末および信託終了のとき信託財産中から支弁します。

その他、投資対象とする外国投資信託の信託報酬等として、以下の費用がかかります。

<基本報酬>

- ・運用報酬 投資対象である外国投資信託において、外国投資信託の純資産総額に対して年1.0%の運用報酬がかかります。
- ・管理報酬 マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブの純資産総額に対し、上限年0.2%程度の管理報酬がかかります。

<成功報酬>

外国投資信託の純資産総額（基本報酬控除後、成功報酬計上前）がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、その超過部分に対して15%の成功報酬がかかります。当該報酬は計算期間を通じて毎日計上され、年1回支払われます。

ハイ・ウォーター・マークは外国投資信託の当初設定元本または直近の決算日（最終営業日）において外国投資信託に成功報酬が発生した場合の成功報酬控除後の純資産総額となり、成功報酬計算期間を通じて毎日計算されます。計算期間内に外国投資信託に追加投資があった場合には当該追加投資金額分に応じて上昇し、解約があった場合には当該解約金額分に応じて減少します。

したがって、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率は、年2.212%（税抜2.12%）程度＋成功報酬となります。

外国投資信託の信託報酬は、外国投資信託の運用の対価、運用財産の管理等の対価です。

上記の信託報酬の総額は、信託財産中から支弁します。

（４）【その他の手数料等】

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産の財務諸表にかかる監査費用（税込）は、信託財産中から支弁します。

ファンドの証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等は、信託財産中から支弁します。

また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。

その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の手数料等の合計額については、受益者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

マザーファンドには、信託報酬および監査費用はありません。

（５）【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

個人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により源泉徴収が行われます。確定申告は不要ですが、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

換金時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）を利用した場合は、原則として確定申告は不要です。

なお、換金時および償還時の損益については、確定申告により、上場株式等の譲渡損益および申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得および譲渡所得等との損益通算が可能です。

○少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA」をご利用の場合

NISAおよびジュニアNISAは、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額については15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）の税率により源泉徴収が行われます（地方税の源泉徴収はありません。）。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の個別元本にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回購入した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、同一ファンドを複数の販売会社で購入する場合には販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを購入する場合は当該支店毎に、一般コースと自動継続投資コースの両コースで購入する場合にはコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

税金の取扱いについては、2020年3月末日現在のものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

（１）【投資状況】

資産の種類別、地域別の投資状況

（2020年3月31日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
投資証券	ルクセンブルク	14,739	96.83
親投資信託受益証券	日本	0	0.00
現金・預金・その他の資産 （負債差引後）	日本	482	3.17
合計（純資産総額）	-	15,221	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a．評価額上位銘柄（全銘柄）

（2020年3月31日現在）

	国／地域	種 類	銘 柄 名	券面総額	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資比率 （％）
1	ルクセンブルク	投資証券	マン・AHL・ダイバーシ ティ・オルタナティブ - 日本円クラス （ヘッジ付）	1,242,166.833	11,821.16 14,683,852,879	11,865.22 14,738,582,750	96.83
2	日本	親投資 信託受 益証券	T & D マネーアカウン トマザーファンド	49,921	0.9997 49,906	0.9996 49,901	0.00

（注）1 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

2 投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

b．投資有価証券の種類別比率

（2020年3月31日現在）

種類	投 資 比 率（％）
投資証券	96.83
親投資信託受益証券	0.00
合計	96.83

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】**【純資産の推移】**

2020年3月末日及び同日前1年以内における各月末及び各計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 （分配落） （単位：百万円）	純資産総額 （分配付） （単位：百万円）	1口当たりの 純資産額 （分配落） （単位：円）	1口当たりの 純資産額 （分配付） （単位：円）
第1期 計算期間 （2017年2月22日現在）	14,902	15,047	1.0230	1.0330
第2期 計算期間 （2017年8月22日現在）	18,774	18,957	1.0288	1.0388
第3期 計算期間 （2018年2月22日現在）	23,423	23,649	1.0387	1.0487
第4期 計算期間 （2018年8月22日現在）	24,177	24,413	1.0252	1.0352
第5期 計算期間 （2019年2月22日現在）	21,443	21,443	1.0004	1.0004
2019年3月末日	21,900	-	1.0367	-
2019年4月末日	21,196	-	1.0635	-
2019年5月末日	19,664	-	1.0653	-
2019年6月末日	17,296	-	1.0793	-
2019年7月末日	15,966	-	1.1635	-
第6期 計算期間 （2019年8月22日現在）	14,873	15,000	1.1744	1.1844
2019年8月末日	14,897	-	1.1970	-
2019年9月末日	14,025	-	1.1634	-
2019年10月末日	13,748	-	1.1120	-
2019年11月末日	14,198	-	1.1282	-
2019年12月末日	14,525	-	1.1203	-
2020年1月末日	15,043	-	1.1220	-
第7期 計算期間 （2020年2月25日現在）	15,397	15,533	1.1290	1.1390
2020年2月末日	15,086	-	1.0961	-
2020年3月末日	15,221	-	1.1315	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金（円）
第1期 計算期間（2017年2月22日）	0.0100
第2期 計算期間（2017年8月22日）	0.0100
第3期 計算期間（2018年2月22日）	0.0100
第4期 計算期間（2018年8月22日）	0.0100
第5期 計算期間（2019年2月22日）	0.0000
第6期 計算期間（2019年8月22日）	0.0100
第7期 計算期間（2020年2月25日）	0.0100

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1期 計算期間（2016年9月30日 ～ 2017年2月22日）	3.30
第2期 計算期間（2017年2月23日 ～ 2017年8月22日）	1.54
第3期 計算期間（2017年8月23日 ～ 2018年2月22日）	1.93
第4期 計算期間（2018年2月23日 ～ 2018年8月22日）	0.34
第5期 計算期間（2018年8月23日 ～ 2019年2月22日）	2.42
第6期 計算期間（2019年2月23日 ～ 2019年8月22日）	18.39
第7期 計算期間（2019年8月23日 ～ 2020年2月25日）	3.01

（注）収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。なお、第1期計算期間においては、前期末基準価額（1万口当たり）を1万円として計算しています。（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第1期 計算期間（2016年9月30日 ～ 2017年2月22日）	16,762,898,719	2,196,171,835
第2期 計算期間（2017年2月23日 ～ 2017年8月22日）	10,061,200,845	6,379,551,158
第3期 計算期間（2017年8月23日 ～ 2018年2月22日）	10,434,472,481	6,131,443,779
第4期 計算期間（2018年2月23日 ～ 2018年8月22日）	3,567,083,837	2,536,387,061
第5期 計算期間（2018年8月23日 ～ 2019年2月22日）	907,108,577	3,053,936,486
第6期 計算期間（2019年2月23日 ～ 2019年8月22日）	1,857,126,634	10,627,715,280
第7期 計算期間（2019年8月23日 ～ 2020年2月25日）	4,685,432,716	3,712,138,792

（注）1 第1期計算期間の設定口数には、当初申込期間がある場合の当該設定口数を含みます。

2 設定口数および解約口数は、全て本邦内におけるものです。

（参考）T & D マネーアカウントマザーファンドの状況**（１）投資状況**

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

（2020年3月31日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
現金・預金・その他の資産（負債差引後）	日本	2	100.00
合計（純資産総額）	-	2	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（２）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

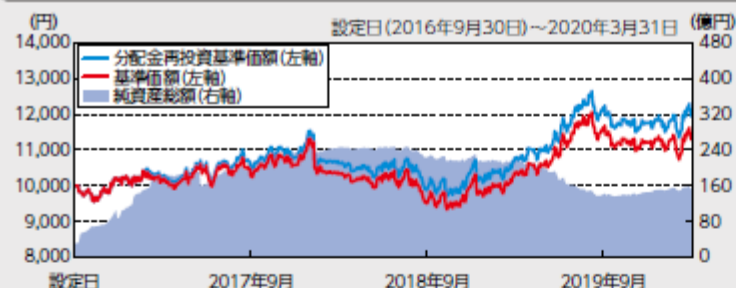
その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

（参考）運用実績

（2020年3月31日現在）

基準価額・純資産の推移



分配の推移(1万口当たり、税引前)

2020年2月	100円
2019年8月	100円
2019年2月	0円
2018年8月	100円
2018年2月	100円
設定来累計	600円

主要な資産の状況

●投資比率

マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ・日本円クラス(ヘッジ付)	96.8%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0%
現金・預金等	3.2%
合計	100.0%

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

●「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」の運用概況 2020年3月末現在（現地基準）

セクター別買建／売建比率

種類	買建	売建
株式	0.6%	-14.2%
通貨	40.8%	-40.8%
債券・金利	23.5%	-12.6%

※当ファンドはルクセンブルク投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ・日本円クラス(ヘッジ付)」に投資を行います。投資対象ファンドの運用概況は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手したデータをもとに作成しています。また、データの基準日は現地基準です。

セクター別買建／売建比率(上位市場／通貨)

株式		通貨		債券・金利	
市場	買建／売建比率	通貨	買建／売建比率	市場	買建／売建比率
アジア(日本除く)	-5.0%	米ドル	50.1%	北米	16.1%
北米	-3.1%	オーストラリアドル	-12.4%	欧州(英国除く)	-6.9%
日本	-1.5%	中国人民幣元(オフショア)	-7.1%	日本	-3.6%
欧州(英国除く)	-1.4%	インドルピー	-4.2%	英国	3.0%
オーストラリア	-1.0%	ハンガリーフォリント	-3.8%	オーストラリア	2.4%

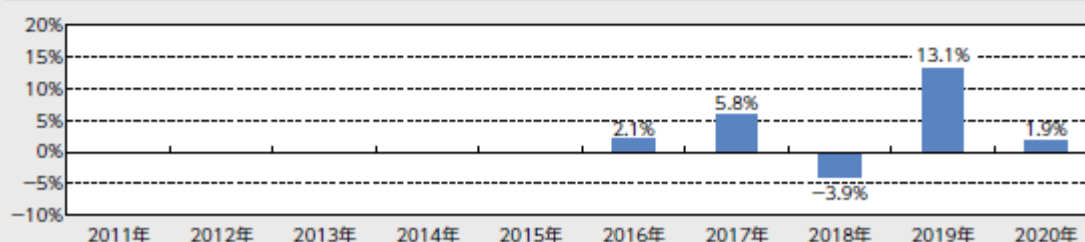
※買建／売建比率は、投資元本に対する株式、通貨、債券・金利の取引の想定元本の割合を示しています。なお、債券・金利セクターにつきましては、個別取引ごとの金利リスクの違いを考慮し、10年国債の想定元本に置き換えています。（例えば、10年国債よりもデデュレーション(注)が短い金利先物の想定元本は小さくなるように調整されます。）通貨の買建／売建比率はAHLが投資している通貨セクターを反映したものであり、為替ヘッジやキャッシュマネジメントは含まれません。

(注)デデュレーションとは、市場金利の変動に対する債券価格の感応度(変化の割合)を示す指標です。

※セクター別買建／売建比率(上位市場／通貨)は、買建比率から売建比率を差し引いた比率の絶対値が大きい順に表示しています。

※買建／売建比率のマイナス表記は売建を表しています。

年間収益率の推移(暦年ベース)



※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※ファンドにはベンチマークはありません。

※2016年は設定日(9月30日)から年末まで、2020年は年初から3月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

ファンドの受益権の購入申込は、販売会社において取引口座を開設のうえ行うものとします。

購入申込は、申込期間における毎営業日に販売会社で受付けます。ただし、継続申込期間において、下記のいずれかに該当する日には、購入の申込を受付けないものとします。

申込不可日につきましては、販売会社にお問い合わせください。

- ・ ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日
- ・ ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日の前営業日
- ・ 12月24日およびその前営業日
- ・ 日本の祝日の前営業日および前々営業日

購入申込の受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により受付時間が変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

申込方法には、一般コースと自動継続投資コースがあります。自動継続投資コースを選択された場合には、販売会社との間で「自動継続投資契約」を締結していただきます。

これと異なる名称で同一の権利義務関係を規定した契約を含むものとします。

受益権の購入価額（発行価格）は、購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。購入価額に申込口数を乗じて得た金額が申込金額となります。

ファンドの購入申込者は販売会社に、購入申込と同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該購入申込の代金の支払と引き換えに、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

申込手数料につきましては、前述「第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金 （1）申込手数料」をご参照ください。

購入申込者は、購入代金を払込期日までにお申込の販売会社に支払うものとします。払込期日は販売会社により異なりますので、販売会社にお問い合わせください。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入申込の受付を中止することおよびすでに受付けた申込の受付を取消すことがあります。

2【換金（解約）手続等】

受益者は、販売会社が定める単位をもって、換金申込を行うことができます。ただし、申込不可日のいずれかに該当する日には、換金申込を受付けないものとします。申込不可日につきましては、前述「1 申込（販売）手続等」をご参照ください。

換金申込の受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により、受付時間が変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

委託会社は、換金申込を受付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

ファンドの換金申込を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

換金価額（解約価額）は、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。

換金申込は、振替受益権をもって行うものとしします。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、換金申込の受付を中止することおよびすでに受付けた換金申込の受付を取消することができます。なお、換金申込の受付が中止された場合には、受益者は当該受付の中止以前に行った当日の換金申込を撤回できます。ただし、受益者がその換金申込を撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日（この計算日が申込不可日であるときは、この計算日以降の最初の換金申込を受付けることができる日とします。）に、換金申込を受付けたものとして の規定に準じて計算された価額とします。

換金代金は、換金申込受付日から起算して、原則として9営業日目から販売会社において支払います。ただし、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、上記原則による支払開始日が遅延する場合があります。

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込等に制限を設ける場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

換金価額につきましては、委託会社または販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（１）【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

ファンドおよびマザーファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

ファンドの主な投資対象

- ・外国投資信託：原則として基準価額計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。
- ・マザーファンド：原則として基準価額計算日の基準価額で評価します。

マザーファンドの主な投資対象

- ・公社債等：a．日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）
b．金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）
c．価格情報会社の提供する価額

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法により評価をすることができます。

基準価額は毎営業日算出され、販売会社にお問い合わせいただければ、お知らせいたします。また、基準価額は原則として翌日の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

基準価額につきましては、下記においてもご照会いただけます。

T & D アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-6722-4810（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

（２）【保管】

ありません。

（３）【信託期間】

ファンドの信託期間は、2026年8月24日までですが、後述「（５）その他 信託の終了」の規定により信託を終了させる場合があります。また、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認められる場合には、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することがあります。

（４）【計算期間】

ファンドの計算期間は、毎年2月23日から8月22日まで、および8月23日から翌年2月22日までです。該当日が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌日以降の最初の営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

（５）【その他】

信託の終了

a. ファンドの繰上償還

- （１）委託会社は、信託期間中において、この信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下回ることとなったとき、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めたとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- （２）委託会社は、この投資信託が主要投資対象とする外国投資信託証券が存続しないこととなる場合は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- （３）委託会社は、（１）の事項について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- （４）（３）の書面決議において、受益者（委託会社およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託会社を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- （５）（３）の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- （６）（３）から（５）までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときおよび（２）の規定に基づいてこの信託契約を解約する場合には適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、（３）から（５）までの手続きを行うことが困難な場合も適用しません。

- b. 委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- c. 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。なお、監督官庁が、この信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、後述「 信託約款の変更」の書面決議で否決された場合を除き、当該委託会社と受託会社との間において存続します。
- d. 受託会社が辞任する場合または受託会社を解任する場合、委託会社は、後述「 信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

- a. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- b. 委託会社は、aの事項（aの変更事項にあっては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあってはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の

日の2週間前までに、この信託約款に係る知っている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。

- c. bの書面決議において、受益者（委託会社およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託会社を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- d. bの書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- e. 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- f. bからeまでの規定は、委託会社が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- g. aからfの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっては、当該併合に係る一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

関係法人との契約の更改に関する手続

委託会社が販売会社と締結している「投資信託受益権の取扱に関する契約」は、契約満了日の3ヵ月前までに当事者から別段の意思表示のない限り、1年毎に自動更新されます。

公告

委託会社が投資者に対してする公告は、原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ（<https://www.tdasasset.co.jp/>）に掲載します。ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

運用に係る報告等開示方法

決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知っている受益者に交付します。

運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページにおいて開示します。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。なお、受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。

（１）収益分配金の請求権

受益者は、ファンドの収益分配金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において換金が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として購入申込者としします。）に、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払を開始します。収益分配金の支払は、販売会社の営業所等にて行うものとします。ただし、受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払を請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

上記に関わらず自動継続投資コースを選択した受益者に対しては、分配金は税引後無手数料で再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（２）償還金の請求権

受益者は、ファンドの償還金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において換金が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で

購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として購入申込者（とします。）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。償還金は、原則として信託終了日から起算して5営業日目までに支払を開始します。償還金の支払は、販売会社の営業所等において行います。ただし、受益者が償還金について支払開始日から10年間その支払を請求しないときはその権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

（３）換金（解約）請求権

受益者は、受益権の換金を販売会社を通じて委託会社に請求できます。権利行使の方法等については、前述「２ 換金（解約）手続等」をご参照ください。

（４）帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- 1．当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しており、金額は円単位で表示しております。
- 2．当ファンドは、第7期計算期間（2019年8月23日から2020年2月25日まで）の財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

ロボット戦略 世界分散ファンド

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第6期 (2019年8月22日現在)	第7期 (2020年2月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	999,336,094	978,527,633
投資証券	14,567,198,845	14,683,852,879
親投資信託受益証券	49,921	49,906
流動資産合計	15,566,584,860	15,662,430,418
資産合計	15,566,584,860	15,662,430,418
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	126,646,854	136,379,794
未払解約金	470,398,532	54,105,728
未払受託者報酬	3,098,487	2,409,623
未払委託者報酬	91,921,662	71,485,241
未払利息	2,063	1,958
その他未払費用	1,652,462	1,285,075
流動負債合計	693,720,060	265,667,419
負債合計	693,720,060	265,667,419
純資産の部		
元本等		
元本	12,664,685,494	13,637,979,418
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,208,179,306	1,758,783,581
（分配準備積立金）	1,794,133,350	1,194,896,271
元本等合計	14,872,864,800	15,396,762,999
純資産合計	14,872,864,800	15,396,762,999
負債純資産合計	15,566,584,860	15,662,430,418

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第6期 (自 2019年2月23日 至 2019年8月22日)	第7期 (自 2019年8月23日 至 2020年2月25日)
営業収益		
有価証券売買等損益	3,213,048,936	322,345,981
営業収益合計	3,213,048,936	322,345,981
営業費用		
支払利息	271,241	305,831
受託者報酬	3,098,487	2,409,623
委託者報酬	91,921,662	71,485,241
その他費用	1,654,528	1,288,231
営業費用合計	96,945,918	75,488,926
営業利益	3,116,103,018	397,834,907
経常利益	3,116,103,018	397,834,907
当期純利益	3,116,103,018	397,834,907
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	908,709,858	95,885,249
期首剰余金又は期首欠損金 ()	7,878,920	2,208,179,306
剰余金増加額又は欠損金減少額	150,531,777	624,227,039
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	150,531,777	624,227,039
剰余金減少額又は欠損金増加額	30,977,697	635,293,312
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	30,977,697	635,293,312
分配金	126,646,854	136,379,794
期末剰余金又は期末欠損金 ()	2,208,179,306	1,758,783,581

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準 及び評価方法	(1)投資証券 基準価額で評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、2019年8月23日から2020年2月25日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第6期 (2019年8月22日現在)	第7期 (2020年2月25日現在)
1 計算期間の末日における受益権の総数 12,664,685,494口	1 計算期間の末日における受益権の総数 13,637,979,418口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1744円 (1万口当たり純資産額 11,744円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1290円 (1万口当たり純資産額 11,290円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

期 別	第6期 (自 2019年2月23日 至 2019年8月22日)	第7期 (自 2019年8月23日 至 2020年2月25日)
項 目		
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(1,920,780,204円)、収益調整金(414,045,956円)、及び分配準備積立金(0円)より、分配対象収益は2,334,826,160円(1万口当たり1,843円)であり、うち126,646,854円(1万口当たり100円)を分配金額としております。	計算期間末における費用控除後配当等収益(0円)、費用控除後有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(686,507,606円)、及び分配準備積立金(1,331,276,065円)より、分配対象収益は2,017,783,671円(1万口当たり1,479円)であり、うち136,379,794円(1万口当たり100円)を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	第6期 （自 2019年2月23日 至 2019年8月22日）	第7期 （自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であります。 有価証券等の金融商品に対して、信託約款及び委託会社で定めた投資ガイドラインや運用計画書等に従い、投資として運用することを目的としております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	金融商品の内容は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務となります。有価証券の詳細については、（その他の注記）2 有価証券関係に記載の通りです。 有価証券に係るリスクとしては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、流動性リスクなどがあります。	同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用部門と独立した運用審査委員会を設け、パフォーマンスの分析・評価及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 価格変動リスク等の市場リスクに関しては、パフォーマンスの実績等の状況を常時分析・把握し、投資方針に従っているかを管理しております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	同左
4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第6期 (2019年8月22日現在)	第7期 (2020年2月25日現在)
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	投資証券、親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の 1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第6期 (自 2019年2月23日 至 2019年8月22日)	第7期 (自 2019年8月23日 至 2020年2月25日)
該当事項はありません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

期 別 項 目	第6期 (自 2019年2月23日 至 2019年8月22日)	第7期 (自 2019年8月23日 至 2020年2月25日)
期首元本額	21,435,274,140 円	12,664,685,494 円
期中追加設定元本額	1,857,126,634 円	4,685,432,716 円
期中一部解約元本額	10,627,715,280 円	3,712,138,792 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

第6期（自 2019年2月23日 至 2019年8月22日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
投資証券	2,360,567,410 円
親投資信託受益証券	14 円
合計	2,360,567,396 円

第7期（自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
投資証券	312,592,671 円
親投資信託受益証券	15 円
合計	312,592,686 円

3 デリバティブ取引関係

第6期（自 2019年2月23日 至 2019年8月22日）

該当事項はありません。

第7期（自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

有価証券明細表

a．株式

該当事項はありません。

b．株式以外の有価証券

（2020年2月25日現在）

種類	銘柄	券面総額	評価額（円）	備考
投資証券	マン・AHL・ダイバーシ ティ・オルタナティブ - 日 本円クラス（ヘッジ付）	1,242,166.833	14,683,852,879	
合計		1,242,166.833	14,683,852,879	

（注）投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

（2020年2月25日現在）

種類	銘柄	券面総額	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	T & D マネーアカウントマ ザーファンド	49,921	49,906	
合計		49,921	49,906	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考) マン・アンブレラ・SICAV マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブの状況

作成基準日：2020年2月26日

< 残高試算表 >

科目	評価金額 (ドル)
現預金	115,132,757
差入証拠金	33,651,542
国債証券	68,780,648
先物取引	2,225,486
為替先渡取引	-4,254,555
未収入金(為替先渡取引)	192,014
未払金(為替先渡取引)	-192,443
未収入金(追加設定)	32,608
未払金(解約)	-52,302
未収入金(定期預金金利)	37,458
未払金	-731,420
純資産総額(試算額)	214,821,793

1. 現預金

種類	評価金額 (ドル)	与信先	与信先所在国
預金	32,344,948	SMBC	日本
預金	35,154,841	BNP Paribas	フランス
預金	32,398,543	THE SUMITOMO TRUST & BANKING	日本
預金	15,234,426	CITIBANK	米国
合計	115,132,757	-	-

2. 差入証拠金

担保種類	評価金額 (ドル)	与信先	与信先所在国
先物取引	2,598,315	JPM	米国
先物取引	8,787,814	Credit Suisse	スイス
先物取引	2,571,605	Merrill Lynch	米国
為替先渡取引	3,271,909	Deutsche Bank	ドイツ
為替先渡取引	7,322,673	HSBC	英国
為替先渡取引	5,639,592	RBS	英国
為替先渡取引	3,459,634	CITIGROUP	米国
合計	33,651,542	-	-

3. 債券現物

銘柄名	利率 (%)	通貨	額面	評価金額 (ドル)	与信先
TREASURY BILL 0% 19-18/JUN/20	0.000	USD	9,912,121	9,953,450	米国
TREASURY BILL 0% 19-19/MAR/20	0.000	USD	4,955,290	4,995,378	米国
TREASURY BILL 0% 19-26/MAR/20	0.000	USD	14,877,172	14,981,564	米国
TREASURY BILL 0% 20-23/JUL/20	0.000	USD	9,923,535	9,940,392	米国
TREASURY BILL 0% 19-07/MAY/20	0.000	USD	3,969,331	3,987,925	米国
TREASURY BILL 0% 19-14/MAY/20	0.000	USD	9,922,321	9,967,222	米国
TREASURY BILL 0% 19-07/MAY/20	0.000	USD	14,950,560	14,954,718	米国
合計				68,780,648	-

4. 先物取引

通貨	銘柄	種類	売買	簿価金額 (ドル)	評価金額 (ドル)	評価損益 (ドル)
EUR	EUX BUXL 30YR 4% 06/03/2020	Bond	買	26,761,681	27,422,630	660,949
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 15/06/2020	Interest Rate	買	1,288,834	1,290,306	1,472
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 18/12/2023	Interest Rate	買	2,999,807	3,002,678	2,871
EUR	EURO-BTP FUTURE 08/06/2020	Bond	買	21,989,424	22,074,363	84,939
EUR	CAC40 10EURO FUT 20/03/2020	Equity Index	買	3,703,850	3,462,897	-240,953
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 14/12/2020	Interest Rate	買	1,290,268	1,292,668	2,400
CAD	S&P/TSE 60 IX FUT 19/03/2020	Equity Index	買	8,581,063	8,524,613	-56,450
MYR	FTSE KLCI FUTURE 31/03/2020	Equity Index	売	-1,656,854	-1,653,979	2,875
EUR	VSTOXX MINI INDEX 15/04/2020	Equity Index	売	-102,168	-130,260	-28,091
EUR	EURO-BUND FUTURE 06/03/2020	Bond	買	43,260,781	43,633,129	372,348
THB	SET50 FUTURES 30/03/2020	Equity Index	売	-1,310,769	-1,170,965	139,803
HKD	HANG SENG IDX FUTURE 30/03/2020	Equity Index	売	-3,419,932	-3,408,538	11,395
EUR	EURO-OAT FUTURE 06/03/2020	Bond	買	75,592,150	76,546,247	954,097
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 13/03/2023	Interest Rate	買	12,009,052	12,017,895	8,843
GBP	90DAY STERLING FU 16/03/2022	Interest Rate	買	4,811,707	4,815,012	3,305
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 13/03/2023	Interest Rate	買	1,479,017	1,483,425	4,408
USD	NIFTY-SGX CNX NIFTY INDEX 26/03/2020	Equity Index	売	-3,384,159	-3,352,492	31,667
USD	CME 90DAYS EURO\$ FUTR JUN 15/06/2020	Interest Rate	買	7,890,238	7,897,200	6,963
GBP	LIF FTSE 100 INDEX 20/03/2020	Equity Index	買	766,837	722,557	-44,280
KRW	KOREA 10Y KBT FUTURE TREASURY BOND 5% 17	Bond	買	16,905,141	17,113,349	208,208
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 13/12/2021	Interest Rate	買	553,091	554,394	1,303
EUR	DAX INDEX FUTURE 20/03/2020	Equity Index	買	3,354,022	3,126,633	-227,389
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 14/09/2020	Interest Rate	買	3,700,875	3,705,750	4,875
USD	NASDAQ 100 E-MINI 20/03/2020	Equity Index	買	3,131,511	3,186,090	54,579
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 19/06/2023	Interest Rate	買	4,365,083	4,369,273	4,190
EUR	AMSTERDAM IDX FUT 20/03/2020	Equity Index	買	5,466,559	5,063,585	-402,974
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 16/09/2024	Interest Rate	買	738,113	740,775	2,663
USD	US ULTRA BOND(CBT) 19/06/2020	Bond	買	14,093,014	14,194,688	101,674

CAD	CAN 10YR BOND FUT 19/06/2020	Bond	買	29,182,758	29,229,120	46,361
TRY	BIST 30 FUTURES 30/04/2020	Equity Index	買	1,063,162	1,060,200	-2,963
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 15/06/2020	Interest Rate	売	-3,278,059	-3,280,383	-2,324
GBP	90DAY STERLING FU 18/03/2020	Interest Rate	売	-160,149	-160,210	-61
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 13/06/2022	Interest Rate	買	4,914,989	4,919,105	4,117
AUD	AUST 10Y BOND FUT 16/03/2020	Bond	買	45,921,289	46,487,605	566,316
GBP	90DAY STERLING FU 15/09/2021	Interest Rate	買	4,973,762	4,975,762	2,001
GBP	90DAY STERLING FU 16/12/2020	Interest Rate	買	2,567,232	2,567,619	387
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 19/09/2022	Interest Rate	売	-546,227	-546,486	-259
USD	SGX FTSE CHINA A50 INDEX FUT 30/03/2020	Equity Index	買	435,719	434,000	-1,719
USD	CBT US LONG BOND 20YR 6% 19/06/2020	Bond	買	21,398,008	21,555,094	157,086
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 14/03/2022	Interest Rate	買	4,643,808	4,646,516	2,707
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 09/12/2021	Interest Rate	買	653,110	653,383	273
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 11/03/2021	Interest Rate	買	1,959,844	1,960,343	499
TWD	TAIEX FUTURES 18/03/2020	Equity Index	買	5,904,077	5,794,127	-109,950
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 14/09/2020	Interest Rate	買	1,659,874	1,660,989	1,115
GBP	90DAY STERLING FU 16/06/2021	Interest Rate	買	5,134,994	5,136,271	1,276
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 14/12/2020	Interest Rate	買	1,913,217	1,913,938	721
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 09/09/2021	Interest Rate	買	1,306,316	1,306,831	515
USD	MINI MSCI EMERGING MARKETS INDEX 20/03/2	Equity Index	買	1,927,019	1,813,350	-113,669
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 15/03/2021	Interest Rate	買	17,216,464	17,224,583	8,119
MXN	MEX BOLSA IDX FUT 20/03/2020	Equity Index	売	-139,941	-133,574	6,367
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 18/09/2023	Interest Rate	買	5,183,317	5,187,478	4,161
GBP	90DAY STERLING FU 17/06/2020	Interest Rate	買	9,145,873	9,141,166	-4,707
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 18/03/2024	Interest Rate	買	738,650	741,150	2,500
CHF	SWISS MKT INDEX FUTURE SMI 20/03/2020	Equity Index	買	5,403,768	5,230,447	-173,320
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 19/09/2022	Interest Rate	買	13,310,040	13,356,900	46,860
GBP	90DAY STERLING FU 21/09/2022	Interest Rate	買	6,737,248	6,740,000	2,752
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 19/06/2023	Interest Rate	買	1,478,985	1,483,200	4,215
NOK	QBX INDEX FUTURE 20/03/2020	Equity Index	買	525,243	502,169	-23,074
EUR	EURO-BTP FUTURE 06/03/2020	Bond	買	118,363,502	119,496,143	1,132,642
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 15/03/2021	Interest Rate	買	16,784,070	16,824,050	39,980
USD	MINI MSCI EAFE 20/03/2020	Equity Index	買	3,146,310	2,923,455	-222,855
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 16/03/2020	Interest Rate	買	737,298	738,338	1,040
JPY	TOPIX INDEX TOKYO TPX 12/03/2020	Equity Index	買	1,242,088	1,157,504	-84,584
USD	CME S&P500 EMINI FUT 20/03/2020	Equity Index	買	1,138,100	1,088,588	-49,512
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 15/03/2021	Interest Rate	買	2,213,537	2,217,014	3,478
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 13/09/2021	Interest Rate	買	922,022	924,037	2,015
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 19/12/2022	Interest Rate	買	4,432,775	4,450,950	18,175
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 11/06/2020	Interest Rate	売	-653,014	-653,223	-209
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 10/12/2020	Interest Rate	買	6,533,710	6,534,316	606
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 17/03/2025	Interest Rate	買	246,050	246,800	750

EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 13/09/2021	Interest Rate	買	4,098,139	4,100,683	2,544
EUR	FTSEMIB INDEX FUT 20/03/2020	Equity Index	買	5,563,670	5,340,855	-222,815
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 18/09/2023	Interest Rate	買	1,478,983	1,482,900	3,917
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 14/12/2020	Interest Rate	買	4,194,400	4,201,338	6,938
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 13/12/2021	Interest Rate	買	27,043,738	27,061,814	18,077
GBP	90DAY STERLING FU 17/03/2021	Interest Rate	買	32,399,014	32,422,709	23,695
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 14/06/2021	Interest Rate	買	4,686,441	4,702,025	15,584
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 16/12/2024	Interest Rate	買	491,975	493,700	1,725
AUD	SPI 200 FUTURES 19/03/2020	Equity Index	買	8,455,277	8,165,061	-290,216
USD	CBOE VOLATILITY INDEX VIX 17/06/2020	Equity Index	売	-50,300	-58,275	-7,975
JPY	JPN 10Y BOND 13/03/2020	Bond	買	11,116,565	11,112,761	-3,804
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 14/06/2021	Interest Rate	買	3,825,195	3,827,495	2,299
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 16/03/2020	Interest Rate	買	183,908	183,992	84
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 14/03/2022	Interest Rate	買	184,451	184,789	337
USD	DOLLAR INDEX 16/03/2020	Currency	買	15,755,712	15,929,018	173,306
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 13/09/2021	Interest Rate	買	3,945,412	3,960,400	14,988
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 18/12/2023	Interest Rate	買	1,476,500	1,482,450	5,950
SEK	OMX STOCKHOLM 30 INDEX OMX 20/03/2020	Equity Index	買	5,045,875	4,760,798	-285,077
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 13/06/2022	Interest Rate	買	2,465,038	2,474,000	8,963
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 10/09/2020	Interest Rate	買	3,266,847	3,267,078	231
SGD	MSCI SING INDEX ETS SIMSCI 30/03/2020	Equity Index	買	2,143,494	2,116,123	-27,372
USD	US 10YR NOTE FUT 19/06/2020	Bond	買	76,429,586	76,734,000	304,414
KRW	KFE KOREA STOCK PRICE 200 INDEX KOSPI2 1	Equity Index	買	2,630,935	2,473,407	-157,527
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 14/03/2022	Interest Rate	買	2,958,427	2,969,550	11,123
GBP	90DAY STERLING FU 21/12/2022	Interest Rate	買	3,848,202	3,850,848	2,646
ZAR	FTSE/JSE TOP 40 19/03/2020	Equity Index	売	-1,379,150	-1,390,534	-11,385
GBP	90DAY STERLING FU 15/12/2021	Interest Rate	買	20,203,242	20,223,050	19,808
AUD	SFE 90-DAY BANK BILL 10/06/2021	Interest Rate	買	1,306,284	1,306,863	579
EUR	DJ EURO STOXX 50 20/03/2020	Equity Index	買	1,863,902	1,750,474	-113,428
HKD	HANG SENG CHINA ENTERPRISES INDEX HSCEI	Equity Index	売	-2,090,387	-2,086,403	3,984
GBP	90DAY STERLING FU 15/06/2022	Interest Rate	買	8,019,078	8,024,213	5,135
CAD	BANK ACCEPT FUTURE 14/06/2021	Interest Rate	買	1,106,722	1,108,732	2,010
USD	90 DAY EURO\$ FUTR 17/06/2024	Interest Rate	買	1,230,213	1,234,938	4,725
GBP	LIF LONG GILT FUTURE 26/06/2020	Bond	買	57,723,515	57,832,065	108,550
JPY	SGX NIKKEI 225 INDEX SGA 12/03/2020	Equity Index	買	2,683,860	2,528,077	-155,783
EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 14/09/2020	Interest Rate	買	1,093,298	1,093,624	327
USD	MSCI TAIWAN INDEX FUT 30/03/2020	Equity Index	買	6,434,945	6,346,650	-88,295
USD	CME 90 DAYS EURO\$ FUTR 13/12/2021	Interest Rate	買	14,302,355	14,354,275	51,920
USD	EMIN RUSSELL 2000 INDEX 20/03/2020	Equity Index	買	1,770,892	1,627,920	-142,972

EUR	LIF 3MO EURO EURIBOR 19/12/2022	Interest Rate	買	4,912,738	4,917,636	4,898
GBP	90DAY STERLING FU 16/09/2020	Interest Rate	買	481,493	481,356	-137
合計				-	-	2,225,486

5. 為替先渡取引

通貨 (売)	予約金額 (ドル)	評価金額 (ドル)	評価損益 (ドル)	通貨 (買)	予約金額 (ドル)	評価金額 (ドル)	評価損益 (ドル)
AUD	181,569,317	185,270,798	3,701,481				
				EUR	49,086,840	49,722,014	635,174
				GBP	22,263,713	22,682,667	418,955
				JPY	8,890,846	9,019,737	128,891
				NZD	19,314,579	19,388,317	73,738
				USD	82,013,339	84,458,062	2,444,723
BRL	72,206,589	74,587,544	2,380,955				
				USD	72,206,589	74,587,544	2,380,955
CAD	112,691,632	113,150,999	459,367				
				EUR	43,862,520	44,030,533	168,013
				USD	68,829,112	69,120,465	291,353
CHF	26,611,058	26,484,191	-126,867				
				EUR	761,880	763,212	1,332
				USD	25,849,178	25,720,979	-128,199
CLP	26,599,575	27,757,409	1,157,834				
				USD	26,599,575	27,757,409	1,157,834
CNH	8,108,948	8,106,643	-2,305				
				USD	8,108,948	8,106,643	-2,305
COP	4,385,389	4,435,779	50,389				
				USD	4,385,389	4,435,779	50,389
EUR	462,768,830	459,731,250	-3,037,580				
				AUD	46,188,144	45,111,744	-1,076,399
				CAD	77,711,157	77,361,334	-349,823
				CHF	15,560,991	15,562,514	1,522
				GBP	18,234,592	18,045,363	-189,230
				HUF	18,031,571	17,873,189	-158,382
				JPY	58,470,341	58,379,908	-90,432
				NOK	17,856,100	17,519,656	-336,445
				PLN	54,511,637	53,954,493	-557,144
				RON	1,309,662	1,308,092	-1,570
				SEK	50,183,085	49,956,535	-226,550
				USD	104,711,551	104,658,422	-53,128
GBP	86,151,659	86,365,028	213,369				
				AUD	10,502,202	10,291,760	-210,442
				EUR	5,550,840	5,576,087	25,247
				JPY	6,291,616	6,327,311	35,695
				USD	63,807,001	64,169,870	362,869
HUF	51,151,667	51,516,118	364,451				
				EUR	37,767,480	38,093,448	325,968
				USD	13,384,187	13,422,670	38,483
ILS	1,313,239	1,314,707	1,468				
				USD	1,313,239	1,314,707	1,468
INR	18,861,528	18,849,332	-12,195				
				USD	18,861,528	18,849,332	-12,195
JPY	342,066,402	341,705,896	-360,506				
				AUD	5,758,280	5,644,765	-113,515
				EUR	50,066,400	49,865,577	-200,823
				GBP	12,841,968	12,747,425	-94,542

				USD	273,399,754	273,448,128	48,374
KRW	52,657,914	53,517,253	859,339				
				USD	52,657,914	53,517,253	859,339
MXN	59,320,773	60,373,388	1,052,615				
				USD	59,320,773	60,373,388	1,052,615
NOK	76,098,939	77,132,374	1,033,434				
				EUR	26,883,480	27,061,871	178,391
				SEK	5,362,560	5,413,103	50,544
				USD	43,852,900	44,657,400	804,500
NZD	62,819,643	64,008,870	1,189,228				
				AUD	13,872,220	13,865,154	-7,066
				USD	48,947,423	50,143,716	1,196,293
PEN	2,212,762	2,233,248	20,486				
				USD	2,212,762	2,233,248	20,486
PHP	295,325	296,882	1,558				
				USD	295,325	296,882	1,558
PLN	53,167,161	53,728,798	561,636				
				EUR	32,325,480	32,628,160	302,680
				USD	20,841,681	21,100,638	258,957
RON	30	30	0				
				USD	30	30	0
RUB	18,981,368	19,294,841	313,473				
				USD	18,981,368	19,294,841	313,473
SEK	69,112,714	69,293,705	180,991				
				EUR	36,134,880	36,186,726	51,846
				NOK	4,096,439	4,042,974	-53,465
				USD	28,881,395	29,064,005	182,610
SGD	42,123,744	42,389,711	265,968				
				USD	42,123,744	42,389,711	265,968
THB	9,028,018	9,187,243	159,225				
				USD	9,028,018	9,187,243	159,225
TRY	31,875,660	32,209,775	334,115				
				USD	31,875,660	32,209,775	334,115
TWD	6,389,209	6,415,058	25,848				
				USD	6,389,209	6,415,058	25,848
USD	1,106,573,100	1,090,528,649	-16,044,452				
				AUD	53,808,101	52,515,031	-1,293,070
				BRL	40,785,591	39,495,498	-1,290,093
				CAD	39,593,558	39,360,545	-233,013
				CHF	1,813,053	1,813,994	941
				CLP	13,417,900	13,064,766	-353,134
				CNH	16,874,282	16,781,089	-93,193
				COP	1,965,200	1,883,201	-81,999
				EUR	81,588,567	81,260,656	-327,911
				GBP	63,230,229	62,837,012	-393,218
				HUF	736,952	735,034	-1,919
				IDR	71,770	69,876	-1,894
				ILS	5,239,116	5,220,597	-18,519
				INR	52,819,675	52,631,488	-188,187
				JPY	373,078,792	370,774,890	-2,303,902
				KRW	31,307,913	30,826,801	-481,112
				MXN	90,175,845	88,318,526	-1,857,319
				NOK	27,291,857	27,076,568	-215,289
				NZD	51,889,263	49,783,827	-2,105,436
				PEN	2,198,445	2,155,544	-42,901
				PHP	18,761,255	18,661,531	-99,724

				PLN	17,607,857	17,082,308	-525,548
				RON	6,469	6,508	39
				RUB	25,801,875	24,448,917	-1,352,958
				SEK	25,176,939	24,958,269	-218,670
				SGD	2,718,752	2,715,373	-3,379
				THB	7,532,880	7,311,150	-221,730
				TRY	29,696,376	28,872,368	-824,007
				TWD	1,153,005	1,147,355	-5,650
				ZAR	30,231,585	28,719,927	-1,511,658
ZAR	37,969,216	38,971,337	1,002,121				
				USD	37,969,216	38,971,337	1,002,121
				総計	3,023,111,409	3,018,856,854	-4,254,555

（参考）T & D マネーアカウントマザーファンドの状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

当ファンドは「T & D マネーアカウントマザーファンド」受益証券を投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンド受益証券です。

（１）貸借対照表

（単位：円）

対象年月日	（2019年8月22日現在）	（2020年2月25日現在）
科 目	金額	金額
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,289,551	2,288,824
流動資産合計	2,289,551	2,288,824
資産合計	2,289,551	2,288,824
負債の部		
流動負債		
未払利息	4	4
流動負債合計	4	4
負債合計	4	4
純資産の部		
元本等		
元本	2,289,524	2,289,524
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	23	704
元本等合計	2,289,547	2,288,820
純資産合計	2,289,547	2,288,820
負債純資産合計	2,289,551	2,288,824

（２）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

（2019年8月22日現在）	（2020年2月25日現在）
1 計算期間の末日における受益権の総数 2,289,524口	1 計算期間の末日における受益権の総数 2,289,524口
-	2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 704円
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0000円 （1万口当たり純資産額 10,000円）	3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9997円 （1万口当たり純資産額 9,997円）

（その他の注記）

1 元本の移動

対象年月日 項 目	（ 2019年8月22日現在 ）	（ 2020年2月25日現在 ）
期首元本額	2,199,552 円	2,289,524 円
期中追加設定元本額	189,963 円	- 円
期中一部解約元本額	99,991 円	- 円
期末元本額	2,289,524 円	2,289,524 円
元本の内訳 *		
T & D 日本株ファンド （通貨選択型）マネー プールコース	2,189,637 円	2,189,637 円
ロボット戦略 世界分散 ファンド	49,921 円	49,921 円
ロボット戦略 世界成 長ファンド	49,966 円	49,966 円
合計	2,289,524 円	2,289,524 円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 売買目的有価証券の貸借対照表計上額等

（自 2019年2月23日 至 2019年8月22日）

該当事項はありません。

（自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）

該当事項はありません。

3 デリバティブ取引関係

（自 2019年2月23日 至 2019年8月22日）

該当事項はありません。

（自 2019年8月23日 至 2020年2月25日）

該当事項はありません。

（ 3 ）附属明細表

有価証券明細表

a . 株式

該当事項はありません。

b . 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

(2020年3月31日現在)

資産総額	15,560,424,632 円
負債総額	339,326,017 円
純資産総額（ - ）	15,221,098,615 円
発行済数量	13,452,144,538 口
1 単位当たり純資産額（ / ）	1.1315 円

(参考) T & D マネーアカウントマザーファンド

資産総額	2,288,688 円
負債総額	4 円
純資産総額（ - ）	2,288,684 円
発行済数量	2,289,524 口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.9996 円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

1．名義書換についての手続、取扱場所等
ありません。

2．受益者に対する特典
ありません。

3．受益権の譲渡

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡の手続および受益権の譲渡の対抗要件は以下によるものとします。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

委託会社は、上記 に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

4．受益権の再分割

委託会社は、受託会社と合意のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できます。

5．質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払、換金申込の受付、換金代金および償還金の支払等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（１）資本金の額

2020年3月末日現在の資本金の額	11億円
会社が発行する株式の総数	2,294,100株
発行済株式総数	1,082,500株
過去5年間ににおける主な資本金の額の増減	該当事項はありません。

（２）会社の機構

経営体制

10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は株主総会において、総株主の議決権の3分の1以上に当たる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度に関する定時株主総会終結の時までとします。

取締役会はその決議をもって、取締役中より取締役会長、取締役社長各1名、取締役副社長若干名を選定することができます。また取締役中より代表取締役を選定します。

取締役会は、取締役社長が招集します。取締役社長に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれを招集します。取締役会の招集通知は会日の2日前までにこれを発します。ただし、緊急の場合は、この期間を短縮することができます。また取締役および監査役全員の同意がある場合は、これを省略することができます。

取締役会は、法令または定款に定める事項の他、業務執行に関する重要事項を決定します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

投資信託運用の意思決定と運用の流れ

a．基本運用方針、月次運用計画の決定

投資政策委員会（原則月1回開催）において投資信託の基本運用方針に関する事項が審議・決定され、各運用部長において月次運用計画に関する事項が決定されます。

b．運用の実行

月次運用計画に沿って、ファンド・マネージャーからトレーディング部に売買発注指示があり、売買が執行されます。

c．運用のチェック等

- ・業務管理部において、運用上の諸リスクの管理および運用実績の評価等を行い、運用審査委員会にて報告・審議が行われます。
- ・法務・コンプライアンス部において、日次で有価証券等の取引内容のチェック・運用制限遵守のチェック等が実施され、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

会社の機構は2020年3月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

委託会社の運用する証券投資信託は2020年3月末日現在、280本であり、その純資産総額の合計は1,152,690百万円です（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額
追加型株式投資信託	150本	519,802百万円
単位型株式投資信託	60本	167,369百万円
単位型公社債投資信託	70本	465,518百万円
合計	280本	1,152,690百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条及び57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第39期事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

		第38期 (2018年 3 月31日現在)		第39期 (2019年 3 月31日現在)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)					
流動資産					
1 . 預金			7,254,267		7,348,860
2 . 前払費用			46,019		53,985
3 . 未収委託者報酬			1,054,036		1,009,736
4 . 未収運用受託報酬			450,583		365,214
5 . その他			-		1,920
流動資産計			8,804,906		8,779,717
固定資産					
1 . 有形固定資産			141,929		133,036
(1) 建物	1	101,837		90,958	
(2) 器具備品	1	39,714		41,793	
(3) その他	1	378		283	
2 . 無形固定資産			44,418		37,002
(1) 電話加入権		2,862		2,862	
(2) ソフトウェア		36,077		30,413	
(3) ソフトウェア仮勘定		5,477		3,725	
3 . 投資その他の資産			399,828		365,068
(1) 投資有価証券		37,527		38,850	
(2) 関係会社株式		5,386		5,386	
(3) 長期差入保証金		117,140		111,847	
(4) 繰延税金資産		220,283		193,055	
(5) 長期前払費用		19,491		15,929	
固定資産計			586,176		535,107
資産合計			9,391,083		9,314,824

		第38期 (2018年 3 月31日現在)		第39期 (2019年 3 月31日現在)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)					
流動負債					
1 . 預り金			10,633		7,592
2 . 未払金			608,077		464,149
(1) 未払収益分配金		1,330		1,579	
(2) 未払償還金		5,660		2	
(3) 未払手数料		408,586		378,125	
(4) その他未払金		192,500		84,441	
3 . 未払費用			752,818		694,884
4 . 未払法人税等			31,501		21,908
5 . 未払消費税等			42,128		20,619
6 . 前受収益			54		-
7 . 賞与引当金			241,535		185,671
8 . 役員賞与引当金			22,308		16,000
流動負債計			1,709,058		1,410,826
固定負債					
1 . 退職給付引当金			437,211		422,821
2 . 役員退職慰労引当金			23,890		29,549
固定負債計			461,101		452,370
負債合計			2,170,159		1,863,196
(純資産の部)					
株主資本					
1 . 資本金			1,100,000		1,100,000
2 . 資本剰余金			277,667		277,667
(1) 資本準備金		277,667		277,667	
3 . 利益剰余金			5,843,079		6,074,187
(1) 利益準備金		175,000		175,000	
(2) その他利益剰余金					
別途積立金		3,137,790		3,137,790	
繰越利益剰余金		2,530,288		2,761,396	
株主資本計			7,220,746		7,451,855
評価・換算差額等					
1 . その他有価証券評価差 額金			176		226
評価・換算差額等計			176		226
純資産合計			7,220,923		7,451,628
負債・純資産合計			9,391,083		9,314,824

（２）【損益計算書】

		第38期 (自 2017年 4 月 1 日 至 2018年 3 月31日)		第39期 (自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月31日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業収益					
１．委託者報酬			5,898,485		5,895,209
２．運用受託報酬			1,846,568		1,467,320
営業収益計			7,745,053		7,362,530
営業費用					
１．支払手数料			2,510,004		2,382,490
２．広告宣伝費			1,235		1,635
３．調査費			2,396,244		2,216,821
（１）調査費		185,225		200,472	
（２）委託調査費		1,851,949		1,653,354	
（３）情報機器関連費		358,074		362,017	
（４）図書費		995		977	
４．委託計算費			207,692		215,420
５．営業雑経費			102,102		97,255
（１）通信費		6,944		6,885	
（２）印刷費		86,366		79,705	
（３）協会費		5,655		7,140	
（４）諸会費		3,135		3,523	
営業費用計			5,217,280		4,913,623
一般管理費					
１．給料			1,183,052		1,160,714
（１）役員報酬		70,882		76,554	
（２）給料・手当		1,004,735		1,023,188	
（３）賞与		107,434		60,972	
２．法定福利費			202,059		178,435
３．退職金			3,276		2,791
４．福利厚生費			3,869		3,434
５．交際費			3,108		2,118
６．旅費交通費			14,213		13,132
７．事務委託費			104,724		100,555
８．租税公課			124,851		134,442
９．不動産賃借料			125,103		142,217
１０．退職給付費用			50,494		51,166
１１．役員退職慰労引当金繰入			4,534		5,659
１２．賞与引当金繰入			241,535		185,671
１３．役員賞与引当金繰入			22,308		16,000
１４．固定資産減価償却費			50,503		47,852
１５．諸経費			54,047		71,508
一般管理費計			2,187,683		2,115,699
営業利益			340,089		333,207

		第38期 (自 2017年 4 月 1 日 至 2018年 3 月31日)		第39期 (自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月31日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業外収益					
1 . 受取配当金			1,073		967
2 . 受取利息			68		72
3 . 時効成立分配金・償還金			374		6,074
4 . 助成金収入			-		3,167
5 . 雑収入			676		62
営業外収益計			2,193		10,344
営業外費用					
1 . 為替差損			641		1,504
2 . 雑損失			630		70
営業外費用計			1,272		1,575
經常利益			341,010		341,976
特別利益					
1 . 投資有価証券売却益			213		397
特別利益計			213		397
特別損失					
1 . 固定資産除却損	1		21		1,196
2 . 投資有価証券売却損			1		508
特別損失計			22		1,704
税引前当期純利益			341,201		340,668
法人税、住民税及び事業税			156,577		82,154
法人税等調整額			63,527		27,405
当期純利益			248,151		231,108

（３）【株主資本等変動計算書】

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,282,136	5,594,927	6,972,595
当期変動額								
当期純利益						248,151	248,151	248,151
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	248,151	248,151	248,151
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,530,288	5,843,079	7,220,746

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	108	108	6,972,703
当期変動額			
当期純利益			248,151
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	68	68	68
当期変動額合計	68	68	248,220
当期末残高	176	176	7,220,923

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金				株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,530,288	5,843,079	7,220,746
当期変動額								
当期純利益						231,108	231,108	231,108
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	231,108	231,108	231,108
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,761,396	6,074,187	7,451,855

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	176	176	7,220,923
当期変動額			
当期純利益			231,108
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	403	403	403
当期変動額合計	403	403	230,704
当期末残高	226	226	7,451,628

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

２．固定資産の減価償却の方法

（１）有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、1998年４月１日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年４月１日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	３～50年
器具備品	２～15年
その他	８年

（２）無形固定資産

定額法を採用しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（５年）に基づく定額法を採用しております。

３．引当金の計上基準

（１）賞与引当金

従業員賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

（２）役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

（３）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により、期末要支給額を計上しております。

（４）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

４．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

（１）消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

（２）連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

表示方法の変更

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」104,232千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」220,283千円に含めて表示しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

第38期 (2018年3月31日現在)	第39期 (2019年3月31日現在)
1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 34,366千円 器具備品 115,139千円 その他 518千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 45,245千円 器具備品 135,855千円 その他 613千円

（損益計算書関係）

第38期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第39期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 21千円	1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 16千円 ソフトウェア仮勘定 1,179千円

（株主資本等変動計算書関係）

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

１．金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社では、資金運用については原則として預金等の資産を中心に投資する方針であり、有価証券の取得を行う場合には、投機的な取引は行いません。

また、資金調達については、主に金融機関からの借入による方針です。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は顧客の信用リスクに晒されておりますが、主に信託銀行により分別管理が行われている信託財産から支弁されており、当該リスクの影響は軽微であります。

投資有価証券及び関係会社株式は、主に非上場株式、子会社株式及び投資信託であります。非上場株式及び子会社株式は業務上の関係維持を目的として保有しており、定期的に発行体の財務状況等の把握を行っております。投資信託は当社が設定する投資信託を商品性の維持等を目的に取得しているものであり、市場価格等の変動リスクは軽微であります。

未払金、未払費用は、ほとんどが１年以内の支払期日です。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は、「リスク管理基本方針」にて各種リスクの基本的考え方を定めており、「財務リスク管理規程」によって、財務リスク（資金繰りリスク、信用リスク）の管理方法を定めています。財務リスクの状況は、月次で開催されるリスク管理委員会にてモニタリングが行われます。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと。）。

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	7,254,267	7,254,267	-
(2) 未収委託者報酬	1,054,036	1,054,036	-
(3) 未収運用受託報酬	450,583	450,583	-
(4) 投資有価証券 その他有価証券	7,327	7,327	-
資産計	8,766,214	8,766,214	-
(1) 未払金 未払収益分配金	(1,330)	(1,330)	-
未払償還金	(5,660)	(5,660)	-
未払手数料	(408,586)	(408,586)	-
その他未払金	(192,500)	(192,500)	-
(2) 未払費用	(752,818)	(752,818)	-
負債計	(1,360,896)	(1,360,896)	-

(*) 負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券(投資信託)

投資信託は公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金、(2) 未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	30,200
子会社株式	5,386
合計	35,586

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	7,254,267	-	-
未収委託者報酬	1,054,036	-	-
未収運用受託報酬	450,583	-	-
投資有価証券 其他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	2,011	3,941	1,374
合計	8,760,898	3,941	1,374

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	7,348,860	7,348,860	-
(2) 未収委託者報酬	1,009,736	1,009,736	-
(3) 未収運用受託報酬	365,214	365,214	-
(4) 投資有価証券 其他有価証券	8,650	8,650	-
資産計	8,732,461	8,732,461	-
(1) 未払金 未払収益分配金	(1,579)	(1,579)	-
未払償還金	(2)	(2)	-
未払手数料	(378,125)	(378,125)	-
其他未払金	(84,441)	(84,441)	-
(2) 未払費用	(694,884)	(694,884)	-
負債計	(1,159,033)	(1,159,033)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券(投資信託)

投資信託は公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金、(2) 未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	30,200
子会社株式	5,386
合計	35,586

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしていません。

（注3）金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	7,348,860	-	-
未収委託者報酬	1,009,736	-	-
未収運用受託報酬	365,214	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	-	7,421	1,229
合計	8,723,811	7,421	1,229

（有価証券関係）

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

その他有価証券の当事業年度中の売却額は2,212千円であり、売却益の合計額は213千円、売却損の合計額は1千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの貸借対照表計上額、取得原価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	(1) その他	4,233	3,924	309
	小計	4,233	3,924	309
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	(1) その他	3,093	3,147	54
	小計	3,093	3,147	54
合計		7,327	7,072	254

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

その他有価証券の当事業年度中の売却額は13,584千円であり、売却益の合計額は397千円、売却損の合計額は508千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの貸借対照表計上額、取得原価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	(1) その他	3,124	2,908	215
	小計	3,124	2,908	215
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	(1) その他	5,526	6,068	542
	小計	5,526	6,068	542
合計		8,650	8,976	326

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

（退職給付関係）

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2．確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	408,206千円
退職給付費用	44,140千円
退職給付の支払額	15,136千円
退職給付引当金の期末残高	437,211千円

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

退職一時金制度の退職給付債務	437,211千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	437,211千円

退職給付引当金	437,211千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	437,211千円

(3)退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	44,140千円
----------------	----------

3．確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額	6,353千円
--------------	---------

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2．確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	437,211千円
退職給付費用	39,558千円
退職給付の支払額	53,948千円
退職給付引当金の期末残高	422,821千円

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

退職一時金制度の退職給付債務	422,821千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	422,821千円

退職給付引当金	422,821千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	422,821千円

(3)退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	39,558千円
----------------	----------

3．確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額	11,608千円
--------------	----------

（税効果会計関係）

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第38期（2018年3月31日現在）	第39期（2019年3月31日現在）
	（単位：千円）	（単位：千円）
（繰延税金資産）		
賞与引当金	73,958	56,852
未払事業税	8,944	3,540
未払社会保険料	12,118	9,421
退職給付引当金	141,151	138,515
連結納税加入に伴う有価証券 時価評価益	15,056	15,061
繰越欠損金	11,374	5,430
その他有価証券評価差額金	-	99
その他	10,270	12,923
小計	272,873	241,845
評価性引当額	52,512	48,790
繰延税金資産計	220,361	193,055
（繰延税金負債）		
その他有価証券評価差額金	77	-
繰延税金負債計	77	-
繰延税金資産の純額	220,283	193,055

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	第38期（2018年3月31日現在）		第39期（2019年3月31日現在）
法定実効税率	30.9%	法定実効税率	30.6%
（調整）		（調整）	
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.5	交際費等永久に損金に算入されない項目	1.6
住民税均等割	0.7	住民税均等割	0.7
評価性引当額	6.1	評価性引当額	1.1
その他	0.6	その他	0.3
税効果会計適用後の法人税率の負担率	27.3	税効果会計適用後の法人税率の負担率	32.1

（セグメント情報等）

１．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

２．関連情報

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（1）製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（2）地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（3）主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（1）製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（2）地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（3）主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(関連当事者との取引)

1 . 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の 内容又は 職業	議決権等の 所有(被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	(株)T&D ホー ル ディング ス	東京都 中央区	207,111	持株 会社	(被所有) 直接 100	経営管理 役員の兼任	連結納税 に伴う支 払予定額 (*1)	144,109	未払金	144,109

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)連結法人税額のうち当社の個別帰属額であり、連結納税親会社へ支払う金額であります。

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の 内容又は 職業	議決権等の 所有(被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	(株)T&D ホー ル ディング ス	東京都 中央区	207,111	持株 会社	(被所有) 直接 100	経営管理 役員の兼任	連結納税 に伴う支 払額及び 支払予定 額(*1)	65,399	未払金	24,677

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)連結法人税額のうち当社の個別帰属額であり、連結納税親会社へ支払った額及び支払う額であります。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第38期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容又 は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の 子会社	大同生命 保険(株)	大阪市 西区	110,000	生命 保険業	-	投資顧問 契約の締 結	投資顧問 契約 (*1)	321,424	未収運用 受託報酬	83,978

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 投資顧問契約にかかる報酬については、運用の種類・受託資産の規模等を勘案し総合的に決定しております。

第39期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容又 は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の 子会社	大同生命 保険(株)	大阪市 西区	110,000	生命 保険業	-	投資顧問 契約の締 結	投資顧問 契約 (*1)	312,760	未収運用 受託報酬	83,648

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 投資顧問契約にかかる報酬については、運用の種類・受託資産の規模等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社T & Dホールディングス（東京証券取引所に上場）

(1株当たり情報)

第38期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		第39期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,670.59円	1株当たり純資産額	6,883.72円
1株当たり当期純利益	229.23円	1株当たり当期純利益	213.49円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
当期純利益（千円）	248,151	当期純利益（千円）	231,108
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	普通株主に帰属しない金額（千円）	-
普通株式に係る当期純利益（千円）	248,151	普通株式に係る当期純利益（千円）	231,108
期中平均株式数（千株）	1,082	期中平均株式数（千株）	1,082

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第40期中間会計期間末 (2019年 9 月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)			
流動資産			
1 . 預金			7,304,533
2 . 前払費用			82,335
3 . 未収委託者報酬			1,005,198
4 . 未収運用受託報酬			404,252
5 . その他			13,093
流動資産計			8,809,413
固定資産			
1 . 有形固定資産			123,104
(1) 建物	1	86,380	
(2) 器具備品	1	36,475	
(3) その他	1	248	
2 . 無形固定資産			36,056
(1) 電話加入権		2,862	
(2) ソフトウェア		26,410	
(3) ソフトウェア仮勘定		6,783	
3 . 投資その他の資産			329,566
(1) 投資有価証券		39,709	
(2) 関係会社株式		5,386	
(3) 長期差入保証金		109,201	
(4) 繰延税金資産		163,461	
(5) その他		11,808	
固定資産計			488,726
資産合計			9,298,140

		第40期中間会計期間末 (2019年9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)			
流動負債			
1. 預り金			533
2. 未払金			440,391
(1) 未払収益分配金		1,579	
(2) 未払償還金		2	
(3) 未払手数料		374,405	
(4) その他未払金		64,403	
3. 未払費用			683,928
4. 未払法人税等			19,015
5. 未払消費税等			25,973
6. 賞与引当金			113,642
7. 役員賞与引当金			8,875
流動負債計			1,292,358
固定負債			
1. 退職給付引当金			403,970
2. 役員退職慰労引当金			27,724
固定負債計			431,694
負債合計			1,724,053
(純資産の部)			
株主資本			
1. 資本金			1,100,000
2. 資本剰余金			277,667
(1) 資本準備金		277,667	
3. 利益剰余金			6,196,672
(1) 利益準備金		175,000	
(2) その他利益剰余金			
別途積立金		3,137,790	
繰越利益剰余金		2,883,881	
株主資本計			7,574,339
評価・換算差額等			
1. その他有価証券評価差額金			253
評価・換算差額等計			253
純資産合計			7,574,086
負債・純資産合計			9,298,140

(2) 中間損益計算書

		第40期中間会計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業収益			
1. 委託者報酬			2,887,521
2. 運用受託報酬			744,499
営業収益計			3,632,020
営業費用			
1. 支払手数料			1,166,446
2. 広告宣伝費			510
3. 調査費			1,066,834
(1) 調査費		80,970	
(2) 委託調査費		802,592	
(3) 情報機器関連費		182,786	
(4) 図書費		485	
4. 委託計算費			108,457
5. 営業雑経費			53,730
(1) 通信費		3,395	
(2) 印刷費		44,992	
(3) 協会費		3,304	
(4) 諸会費		2,037	
営業費用計			2,395,978
一般管理費			
1. 給料			559,803
(1) 役員報酬		38,711	
(2) 給料・手当		510,780	
(3) 賞与		10,311	
2. 法定福利費			89,526
3. 退職金			1,086
4. 福利厚生費			2,346
5. 交際費			663
6. 旅費交通費			5,440
7. 事務委託費			50,906
8. 租税公課			64,416
9. 不動産賃借料			75,387
10. 退職給付費用			25,791
11. 役員退職慰労金			300
12. 役員退職慰労引当金繰入			2,775
13. 賞与引当金繰入			114,142
14. 役員賞与引当金繰入			8,875
15. 固定資産減価償却費	1		20,223
16. 諸経費			36,866
一般管理費計			1,058,551
営業利益			177,490

		第40期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業外収益			
1. 受取配当金			971
2. 受取利息			39
3. 助成金収入			400
4. 雑収入			60
営業外収益計			1,471
営業外費用			
1. 為替差損			637
2. 雑損失			109
営業外費用計			747
経常利益			178,214
特別損失			
1. 固定資産除却損			4
2. 投資有価証券売却損			227
特別損失計			231
税引前中間純利益			177,982
法人税、住民税及び事業税			25,892
法人税等調整額			29,605
中間純利益			122,484

（３）中間株主資本等変動計算書

第40期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金				
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計	
					別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,761,396	6,074,187	7,451,855
当中間会計期間 変動額								
中間純利益						122,484	122,484	122,484
株主資本以外の項目の 当中間会計期間変動額（純額）								
当中間会計期間 変動額合計	-	-	-	-	-	122,484	122,484	122,484
当中間会計期間末 残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,883,881	6,196,672	7,574,339

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	226	226	7,451,628
当中間会計期間 変動額			
中間純利益			122,484
株主資本以外の項 目の当中間会計期 間変動額（純額）	26	26	26
当中間会計期間 変動額合計	26	26	122,458
当中間会計期間末 残高	253	253	7,574,086

重要な会計方針

	第40期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)						
1. 資産の評価基準及び評価方法	(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。 その他有価証券 時価のあるもの 中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。） 時価のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。						
2. 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 <table border="0"> <tr> <td>建物</td><td>3～50年</td></tr> <tr> <td>器具備品</td><td>2～15年</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>8年</td></tr> </table> (2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。	建物	3～50年	器具備品	2～15年	その他	8年
建物	3～50年						
器具備品	2～15年						
その他	8年						
3. 引当金の計上基準	(1) 賞与引当金 従業員の賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間にかかる額を計上しております。 (2) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間にかかる額を計上しております。 (3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により、当中間会計期間末における必要額を計上しております。 (4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。						
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 (2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。						

注記事項

（中間貸借対照表関係）

第40期中間会計期間末 (2019年9月30日)	
1	有形固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。
	建物 49,991千円
	器具備品 144,021千円
	その他 648千円
2	消費税等の取扱い
	仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

第40期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1	固定資産の減価償却実施額は次の通りであります。
	有形固定資産 13,111千円
	無形固定資産 7,112千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第40期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当期首株式数 (千株)	当中間会計期間増加 株式数(千株)	当中間会計期間減少 株式数(千株)	当中間会計期間末 株式数(千株)
普通株式	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

金融商品の時価等に関する事項

2019年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと。）。

（単位：千円）

	中間貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	7,304,533	7,304,533	-
(2) 未収委託者報酬	1,005,198	1,005,198	-
(3) 未収運用受託報酬	404,252	404,252	-
(4) 投資有価証券			
その他有価証券	9,509	9,509	-
資産計	8,723,494	8,723,494	-
(1) 未払金			
未払収益分配金	(1,579)	(1,579)	-
未払償還金	(2)	(2)	-
未払手数料	(374,405)	(374,405)	-
その他未払金	(64,403)	(64,403)	-
(2) 未払費用	(683,928)	(683,928)	-
負債計	(1,124,319)	(1,124,319)	-

(*) 負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券（投資信託）

公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金、(2) 未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	30,200
子会社株式	5,386
合計	35,586

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

（有価証券関係）

第40期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

その他有価証券において、種類ごとの中間貸借対照表計上額、取得原価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) その他	3,180	2,904	275
	小計	3,180	2,904	275
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) その他	6,329	6,969	640
	小計	6,329	6,969	640
合計		9,509	9,874	364

（セグメント情報等）

第40期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(1 株当たり情報)

第40期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1 株当たり純資産額	6,996円84銭
1 株当たり中間純利益	113円14銭
(算定上の基礎)	
中間純利益 (千円)	122,484
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る中間純利益 (千円)	122,484
期中平均株式数 (千株)	1,082

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次の行為が禁止されています。

1. 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
2. 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
3. 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下4、5において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
4. 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
5. 上記3、4に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

定款の変更等

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の特別決議が必要です。

訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

（1）受託会社

野村信託銀行株式会社

- ・ 資本金の額 35,000百万円(2019年9月末日現在)
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

（2）販売会社

名称	資本金の額 (単位：百万円) (2019年9月末日現在)	事業の内容
今村証券株式会社	857	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	48,323	
めぶき証券株式会社	3,000	
東海東京証券株式会社	6,000	
楽天証券株式会社	7,495	
水戸証券株式会社	12,272	
第四北越証券株式会社	600	
中銀証券株式会社	2,000	
ちばぎん証券株式会社	4,374	
西日本シティTT証券株式会社	3,000	
ワイエム証券株式会社	1,270	
静岡東海証券株式会社	600	
フィデリティ証券株式会社	9,257	
auカブコム証券株式会社	7,196	
株式会社愛媛銀行	21,363	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社十六銀行	36,839	
株式会社山形銀行	12,008	
株式会社イオン銀行	51,250	
株式会社福島銀行	18,127	
株式会社西日本シティ銀行	85,745	
株式会社高知銀行	19,544	
株式会社東和銀行	38,653	
株式会社長崎銀行	6,121	

2019年12月31日現在

2【関係業務の概要】

「受託会社」は主に以下の業務を行います。

- a．信託財産の保管・管理・計算
- b．委託会社の指図に基づく信託財産の処分等

「販売会社」は主に以下の業務を行います。

- a．受益権の募集・販売の取扱い
- b．受益権の換金（解約）申込の取扱い
- c．換金代金、収益分配金および償還金の支払の取扱い
- d．目論見書、運用報告書の交付等

3【資本関係】

（持株比率5.0%以上を記載します。）

2020年3月末日現在、該当事項はありません。

第3【参考情報】

当計算期間において提出した金融商品取引法第25条第1項各号に掲げる書類は以下の通りです。

2019年11月21日	有価証券報告書
2019年11月21日	有価証券届出書

独立監査人の監査報告書

2019年6月3日

T & D アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	羽柴 則央
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 雅人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているT & D アセットマネジメント株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、T & D アセットマネジメント株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年4月23日

T & D アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員	公認会計士	羽柴 則央
業務執行社員		
指定有限責任社員	公認会計士	伊藤 雅人
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているロボット戦略 世界分散ファンドの2019年8月23日から2020年2月25日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ロボット戦略 世界分散ファンドの2020年2月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

T & D アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年12月2日

T & D アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員	公認会計士	羽柴 則夫
業務執行社員		
指定有限責任社員	公認会計士	伊藤 雅人
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているT & D アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第40期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、T & D アセットマネジメント株式会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。